



すべての家族に産後ケア

マドレ通信

23号

CONTENTS

- (1) 代表挨拶・NEWS
- (2) 研究開発事業
- (3) 教室事業
- (4) 養成事業
- (5) 組織運営・広報
- (6) 会員・寄付
- (6) 事務局よりお知らせ

編集発行：特定非営利活動（NPO）法人マドレボニータ 発行日：2023年8月30日

ごあいさつ

いつもあたたかいご支援をありがとうございます。まだまだコロナ感染の声は聞かれるものの、少しずつコロナ前の活気が戻ってきた様子があちこちで見られた夏でしたね。私も4年ぶりに開催された地元の花火を眺めながら、この景色が当たり前でないことをしみじみと噛み締めた夏でした。

産後ケア教室でも少しずつ、マスクを外し、赤ちゃんを真ん中に囲むといった、コロナ禍以前の景色が戻ってきました。お互いの表情を見ながら弾む、語る。そこには私たちが思っていた以上に、安心感と一体感、つながる力、そして次のステージへのパワーが生まれることを再確認しました。

“産後ケア教室をもっと多くの産後女性に届けていきたい”そんな気持ちを強くした今年度は、改めて自分たちのミッションとビジョンをじっくりと見直してきました。一組でも多くの産後家庭に産後ケアを届けていくためには、何ができるのか？誰とどう進めていくのか？を日々考えながら、来年度の事業計画を立てているところです。

みなさまからのご支援もとても大きな力となっております。引き続き産後ケアを広める仲間として、一緒に盛り上げてくださると嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。

共同代表理事 山本裕子



日頃よりマドレボニータを応援くださり、ありがとうございます。今年度は5年前に取得した東京都「認定NPO法人」更新という、団体にとっても大きな節目を迎える年となりました。組織のガバナンス体制はもちろん、広く社会の利益に貢献できているか、広く市民からの支援を受けているか、など様々な項目での審査がありました。

無事に認定更新できたのも「産後ケア」を起点に社会をよりよくしたい！と想いを共にしてくださるみなさまからの応援があってこそ。改めて感謝の気持ちをお伝えしたいと同時に、引き続き、公益性を生み出す組織として進化していきたいと思います。

また、今年度の大きな取り組みとして、「夫婦のための産後ケア」啓発・実現のため、『産後白書4』を全国の自治体にお届けしました。自治体と意見交換をする中でも「産後ケア」自体の拡充の難しさを改めて感じています。

「産後ケア」が当事者である女性だけでなく、夫婦、地域、社会全体の課題と認識され、社会全体で取り組める社会実現のため、マドレボニータとして今後も一歩ずつ、着実にその歩みを進めてまいります。

共同代表理事 中桐昌子

認定NPO更新のご報告

NEWS

マドレボニータはこのたび、東京都の審査を経て、5年目の「認定NPO法人」更新を行いました。

「認定NPO法人」とは、NPO法人のうち「一定の基準を満たしている」と所轄庁（都道府県・政令市）が認めた法人で寄付者の方に税制優遇が認められています。2023年度06月末現在、日本のNPO法人数が50,187団体、そのうち認定NPO法人は1,272団体と、わずか2.5%です。

2017年11月に認定を受けて以来、事業の公益性と、多くのご支援者の存在、そして適切な運営体制を認めていただき、晴れて更新に至りました。

更新にあたっては、1年以上前から認定NPO法人更新プロジェクトを始動。キックオフを行い、準備に取り組んでまいりました。

コロナ禍、かつ2020年からの体制変更に伴い書類の現状把握にも苦戦した中、あたたかく伴走していただいた 有限会社サテライト・オフィスの池本様・大庭様に心よりお礼を申し上げます。

そして何より、日頃より活動を支えてくださいましたご支援者の皆さまに大変感謝しております。

ぜひ引き続き、「すべての家族に産後ケア」の実現に向け、ご支援・ご参画をいただけましたら大変嬉しく存じます。



「産後白書4」を47都道府県へ！

全国2,400か所に発送しました

研究開発事業

2022年6月から7月にかけて行ったクラウドファンディング「『産後白書4』を47都道府県へ届けて夫婦のための産後ケアを実現したい!」ではたくさんの方からご支援をいただきありがとうございました。

2022年秋、全国の自治体から一軒一軒リストアップし、合計約2400か所にものぼる

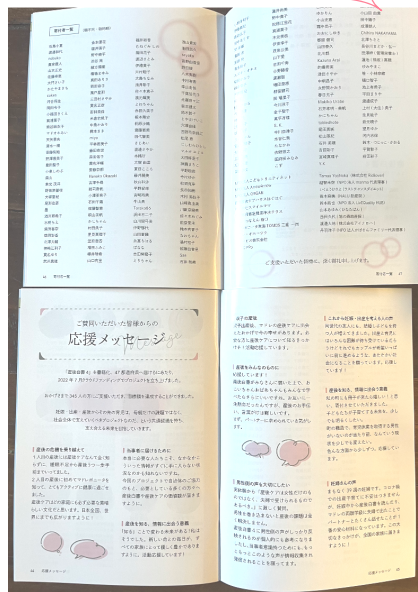
- ・母子保健センター
- ・子育て世代包括支援センター
- ・男女共同参画センター

等へ『産後白書4』や資料を発送・配布しました。

デザイナーさんには、今回ご寄付いただいた方のお名前や応援メッセージなどを新たに冊子に追加していただきました。



皆さまのお名前や応援メッセージを追加しました！



男女共同参画センター横浜北
アートフォーラムあざみ野さま (神奈川県)



法人会員・金子レディースクリニックさま (東京)



会員グループ「マドレボニータ東海TOMOS」のメンバーと四日市市役所さま (三重県) を訪問

協働事例

広島県 安芸高田市



市内の全子育て支援拠点にて
『産後白書4』を設置



©2022 Madrebonita

クラウドファンディング報告会

『産後白書4』を手にとった自治体関係者さまより「産後白書4のデータを活用して産後ケアを促進したい」「地域の産後家庭にご案内したい・全数配布したい」とうれしい問い合わせをいただいております。

6月1日にはクラウドファンディング報告会をオンラインで開催。自治体との協働報告や、支援者の皆さまへ感謝の気持ちを改めてお伝えしました。

配布実績(2023年7月現在)

- ・鹿児島県さつま町
白書チラシ 100枚発送 (妊婦教室にてチラシ配布)

- ・愛知県美浜町
白書4冊発送 (子育て支援施設4ヶ所にて閲覧用)

- ・岐阜県白川村
白書30冊発送 (新生児訪問での配布、「ママと赤ちゃんのサロン」(妊婦&産後1年未満の方を対象にした広場)での配布(月1回開催・岐阜の助産師さんを招いて開催))

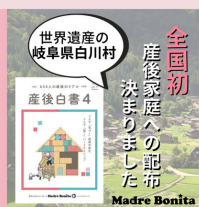
- ・独立行政法人国立女性教育会館
1冊発送 (蔵書として寄贈)

- ・北海道士幌町
50冊発送 (令和5年度の母子手帳交付者に配布)

- ・神奈川県地域子育て支援拠点かなーちえ
100冊発送 (産前のプログラム受講者に配布)

- ・愛知県助産師会 白書チラシ 540枚発送 (会員に配布)

岐阜県 大野郡白川村



保健師による赤ちゃん訪問時に手渡し
(生後1〜2ヶ月頃)

北海道 上士幌町



母子手帳とともに交付

鹿児島県 薩摩郡さつま町



マドレボニータ
『オンライン両親学級』
を視察いただきました



©2022 Madrebonita

「復職支援プログラム」導入

横浜ゴム株式会社様・育休中の社員ならびに社員の配偶者対象

教室事業

● 復職支援プログラムのご案内 ● 育休中の社員ならびに社員の配偶者 (事実婚および同性パートナー含む) 横浜ゴム株式会社

赤ちゃんもわたしも笑顔になれる

マドレボニータの産後ケア教室

出産でダメージを受けた心身を適切に回復させ、復職に向けての準備を踏み出す機会として、2023年より産後ケアのプロフェッショナル「認定NPO法人マドレボニータ」のプログラムを導入します。
産褥期(産後6-8週間程度)はしっかりと養生をしていただき、育児休業(産後57日目〜)以降を目標に教室へご参加ください。パートナーと共に、子育てを健やかにスタートされることを応援しています。

選ぶ1か月集中講座

01 対面教室 (120分×4回)	02 オンライン教室 (75分×4回)
● バランスボール運動 ● コミュニケーションワーク ● セルフケア講座	● ストレッチ運動 ● リフレッシュの対話 ● セルフケア講座

教室参加費を会社が全額補助します

- 教室受講料(消費税・保険料含む)の全額補助となります。
- 1回の出席につき1回目の受講に限り、リピーター受講の場合は対象外となります。
- キャンセル料、受講コースの変更手数料、欠席回の振替手数料は自己負担となります。

この春、横浜ゴム株式会社が「従業員向け復職支援、育児両立支援、および女性活躍推進、男性社員の育児休業取得推進」を目的として、育休中の社員ならびに社員の配偶者(事実婚および同性パートナー含む)を対象に、以下の2つのプログラムを導入しました。

● マドレボニータの「産後ケア教室」 4回コースの受講料全額補助

対象：育休中の社員ならびに社員の配偶者(事実婚および同性パートナー含む)
教室は対面とオンラインのどちらから選択可能。

● オンライン視聴版「産前講座」の導入
産後の実態と必要な準備、育休中の過ごし方とパートナーの支え方、よりよいキャリアの変換点にするための産育休中の過ごし方やパートナーシップなどを学べる動画講座です。

ご担当者の声

ご担当の渋谷南さん(ダイバーシティ推進タスク)からは今回の導入理由として、以下のコメントをいただきました。

マドレボニータさんの講座は、育休を「復職への準備期間」ととらえ、産前から準備する大切さについて学びます。心身の回復について自覚的に取り組むことができる素晴らしいプログラムです。
ぜひ多くの社員に利用してもらい、元気に復職できるよう応援したいと思います。

上記の内容は以下プレスリリースから引用しています

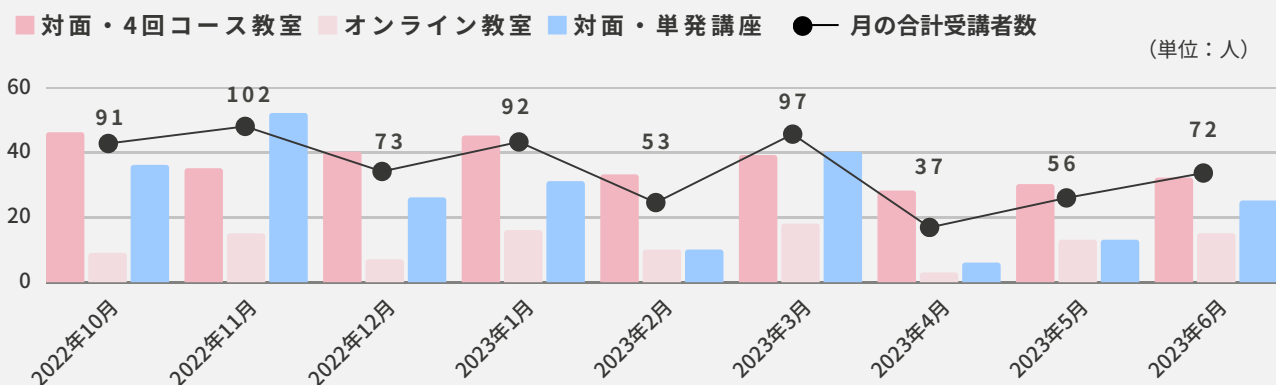
「横浜ゴム株式会社がマドレボニータ「復職支援プログラム」を導入」<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000020.000036840.html>

マドレボニータの復職支援プログラムは、これまで7社に導入いただいております。
単発での講座開催も含めると、19社に活用されました。

復職支援プログラム詳細は以下の公式サイトをご覧ください
<https://www.madrebonita.com/reinstatement-program>



今年度の受講者数(2023年6月末時点)



産後ケアの担い手を養成

産後セルフケアアドバイザー18名誕生

養成事業

2022年9月～12月に『産後セルフケアアドバイザー』養成スクール3期、2023年1月～3月に4期を開催。合計18名の産後セルフケアアドバイザーが誕生しました。

プログラムは回を重ねるごとに改良を続けています。第3期には『対話の場づくり』の回を新設、『産後セルフケアアドバイザー』第1期生でマドレ応援団の橋本和良さんにアシスタント参加いただきました。

(詳しいご報告はこちら)



スクール3期の修了式

産後セルフケアアドバイザー 養成スクール4期スタート



スクール4期の講座風景

講座風景ご紹介

2月2日開催

「マドレ式両親学級のからくりを紐解く」

今日の講義ではほとんどの時間を、みんながそれぞれ「どんな場づくりをしたいか」「何を伝えたいのだろうか？」をとことんアウトプットする！ことに費やしました。

「お互いが当事者意識を持つために、手伝ってという言葉は使わないようにしている」という言葉を大切にしていることや、「男性側の声をもっと大切にしたい」視点など

どんな産後を迎えるか、産前から夫婦で考えて取り組むためには？
いろんな視点、それぞれの想いがあふれて発見することがいっぱい。

「産後の準備」というけれど、その先の人生いくらでも新しい課題がやってくる。
夫婦でその課題をどうやって乗り越えるか、その大切なチャレンジが「産後」。

だから、グッズを揃えとか、家事の分担を決めておくことだけが
産後の準備じゃないんだな～と改めて気づきをもらった養成スクールでした。

(講座アシスタント：中川奈津子インストラクター)



養成スクール

③『マドレ式両親学級の
からくりを紐解く』

2023.02.02



産後セルフケアインストラクター養成コース

養成事業

2年ぶりに産後セルフケアインストラクター養成スクールが開講しました。

夏までにスクールカリキュラム前半を終えて、実技試験、再試験と進めてきましたが、今期は残念ながら合格者が出ずに、養成スクール終了という判断をしました。

残念な結果ではありますが、クオリティは維持しながらも、新しいインストラクターを育成していけるシステムを引き続き構築していきます。

あなたも産後ケアの
伝え手になりませんか？

『産後セルフケアアドバイザー』養成スクール
第五期は2023年秋開催予定です。
養成スクール資料請求はこちら▶▶▶



組織運営・広報

第10回エクセレントNPO大賞「課題解決力賞」受賞



表彰式に出席した共同代表の山本とスタッフの増田

2023年5月10日に開催された「エクセレントNPO大賞授賞式」(主催:「エクセレントNPO」をめざそう市民会議)にて、マドレボニータは「課題解決力賞」に選ばれました。

本賞は、「自己評価を行いながら質の向上をめざす非営利組織を応援し、その活動を社会に『見える化』」することを目的」とされており、15の評価基準に基づいた自己評価書をもとにエントリーさせていただきました。マドレボニータは4度目の挑戦でノミネートされ、選出された5団体の中から、見事「課題解決力賞」を受賞することができました。

表彰式では、共同代表の山本が「コロナ禍で手探りの経営をしてきた3年だったが、産後の家族に産後ケアを届けていきたい一心で目の前のことにひとつひとつ取り組んできた。たくさんの方のご支援をいただきながら、きょうこの場に立たせていただいていることに感謝したい」とご挨拶させていただきました。

今後とも「課題解決力賞」の名に恥じぬよう、産前産後が起点となる社会問題の解決に取り組んでまいります。

日本NPO学会 第25回研究大会にて発表

2023年6月10,11日に日本NPO学会の第25回研究大会が京都産業大学で開催され、マドレボニータは初めて参加しました。1日目は共同代表の山本裕子が、一般社団法人World In Youの「創発を促す非営利組織のガバナンス:多様なセクターの人材が参画する価値と可能性」というセッションに、ボードフェロープログラム第1期の参加団体のパネリストとしてオンライン発表しました。

2日目は、理事・組織基盤担当の永野間が、実践報告にて『事業承継後の組織運営について～理事改選において誰もが組織運営を自分ごとにするための工夫～』を発表しました。(発表の要旨は[こちらの資料](#)のP.82からご覧いただけます)

NPO、NGO、ボランティア、フィランソロピーなど、民間非営利活動に関する研究および活動成果の発表と交流、教育の普及を行い、もって社会に貢献することを目的とした日本NPO学会の研究大会で、様々な研究をされている方々に向けて、私たちが運営現場で実践して得た気づきや学び、課題を発表することで、今後の運営のヒントとなる非常に有意義なご質問も多くいただきました。

大会運営委員の方からは、この「学会」が、実践と研究をつなぐ場になれば…という希望をお聞きし、そのおもしろいにも非常に強く共感しています。これまで私たちが他団体や、さまざまなセクターのみなさんから多くの知見とアドバイスをいただけてきたように、私たちマドレボニータの活動において、悩み、奮闘してきたことの数々が、誰かのお役に立てると幸いです。



「SDGSえほん」プロジェクトに参画



▼電子書籍▼
ダウンロード



▼読み聞かせ▼
動画



社会課題の解決に向けて第一線で活動しているソーシャルセクター監修のもと制作した、社会問題やSDGsを楽しく学ぶことができる絵本のシリーズ「SDGsえほん」に参画させていただきました。制作した絵本は、Yogibo様をはじめとした企業スポンサーからのご支援により、紙の絵本、電子書籍(ダウンロードは[こちら](#))、読み聞かせ動画(視聴は[こちら](#))を【無料】でお届けするプロジェクトです。マドレボニータの他にも社会活動に尽力されるNPO法人さんが参画され、全10作品がリリースされています。

完成したのは絵本「みんなでうみそだてる～ペンギンのおはなし」。世界一過酷と言われているペンギンの子育て。そんなペンギンの生態系と重ね、出産前、産後の育児も、母親だけのことではなく、父親、そして社会で支えていくものだという事をお伝えすべく、夫婦や社会で子育てをする様子を描いた物語です。

「産後ケア」、そしてその先の子育てを家族で、そして社会全体で支え合う大切さをこどもたちにもわかりやすく伝えたい!そんな想いを大切にしながら株式会社イースマイリーの制作チームの皆さんと心を込めて創り上げた一冊です。ぜひご覧ください!

会員・寄付

東京マラソン2023チャリティ



マドレボニータは走る母たちを応援します



※東京マラソン2023の様子

2023年3月5日に東京マラソン2023が開催されました。マドレボニータのチャリティランナーとして走ってくださる皆さんを応援すべく、3月2日から4日まで開催された東京マラソンEXPO 2023でのブース出展や、当日の沿道応援、フィニッシュ後のチャリティラウンジ開設を行いました。

ランナーの皆さま、沿道から熱い声援を送られていた皆さま、そして多くのボランティアの皆さまの熱気に直接触れることができ、この場の持つパワーに勇気と元気をいただきました。

マドレボニータのチャリティランナーとしてご参加くださった皆さま、本当にありがとうございました。また、ゆるラン部のみなさま、朝活バランスボール部はじめ教室OGのみなさまには、沿道の応援団などたくさんのご協力をいただき、ありがとうございました。

今回マドレボニータが掲げた「母になっても楽しさも快適さも追い求めていい」のメッセージとともに、すべての家族に産後ケアを届けるべく、これからも活動してまいります。

マドレボニータは、来年開催の東京マラソン2024チャリティの寄付先団体になりました。東京マラソン2024でもチャリティランナーの皆さまを応援すべく、ボランティアの皆さまのおもいただき取り組んでいく予定です（チャリティランナー募集は終了しております）。

▼マドレボニータは、東京マラソン財団チャリティRUN with HEART の寄付先団体です。
<https://www.runwithheart.jp/>

会員グループ「マドレ・オホーツク」の皆さんが「社会ボランティア賞」を受賞



Madre Bonita



マドレ・オホーツクのInstagramはこちら！

マドレボニータはいつも多くの会員の皆さまからの応援に支えられて、活動ができています。さらに、その会員の方が中心となって全国各地で産後ケアを伝えてくださっています。

この度、北海道オホーツク地域を中心に活動している「マドレ・オホーツク」の皆さんがソロプチミスト日本財団さまの「社会ボランティア賞」を受賞しました！！

いつもパワフルさとユーモアを持ってそして何より運営メンバーの皆さんがとても楽しそうに、生き生きと活動される姿に今やオホーツクだけでなく、全国の多くの産後のご家族がエンパワメントされています。

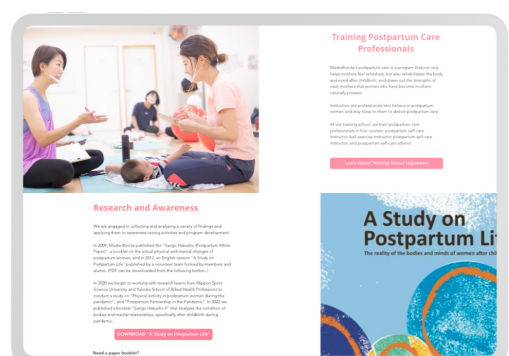
マドレ・オホーツクではマタニティ&産後の方に向けた講座、両親学級の企画/運営や産褥ヘルプに読書会など…様々な活動を行っています。ラジオFMあばしりでは毎月第3月曜日15:00～15:30放送の『マドレ・オホーツクの産後GO!GO!』も放送中です。
(アプリで全国から視聴可能！詳細や放送予定は右のInstagramをご覧ください)

公式サイトに英語ページができました

マドレボニータの公式サイトに英語のページを公開しました。

「産後白書1」を英訳した「A Study on Postpartum Life」のPDFもダウンロードしていただけます。

公式サイトのメニューバーから「English」を選んでください。英語で活動を紹介したいときなどぜひご活用ください！



事務局よりお知らせ

マドレジャーナルWEB版

会報誌「マドレジャーナル」は従来紙の冊子で発行していましたが、2020年よりWEBでの発行となりました。正会員の皆さまや会員チームの皆さまが、産後ケアやコミュニティでの活動や知見を公開できるメディアです。

▶▶▶こちらからお読みいただけます
<https://www.madrebbonita.com/madrejournal-web>



第3号

マドレ式 事業承継の奇跡(軌跡)
 ～『今すぐ事業承継したい』人も『いずれは事業承継を…』な人も～(2022年4月発行)



第2号

コロナ禍でも、コロナ禍だからこそ届けたい
 『産後のリアル』
 マドレ・オホーツク初、自治体とのコラボ&
 オンライン両親学級開催までの歩み



第1号

コロナ禍の『とりくむ産後ケア』を考える
 NPO法人マドレボニータ オンライン産後ケア
 教室の挑戦

正会員の皆さまへ

●マドレジャーナルを執筆してみませんか？

執筆のご希望やご相談は随時お受け付けしております。

▶▶▶こちらのフォームからご連絡ください。



●全てのバックナンバーが閲覧可能に

過去のマドレジャーナルやニュースレターを閲覧できる
 「マドレジャーナル・デジタルアーカイブサイト」を公開
 しました。

<https://www.madrebbonita.com/archive>

アーカイブサイトの閲覧にはパスワードが必要です。

▶▶▶ご不明な方はこちらのフォームから
 お問い合わせください。



活動をご支援ください

読み終えた本で応援『チャリボン』

株式会社バリューブックス様が展開する『チャリボン』、マドレボニータも寄付先団体の一つです。本を通していただいたご寄付は産後ケアの普及のため大切にに使わせていただきます。

寄付する方法は、本を箱につめてWEB上で集荷依頼を行うだけ。本だけではなく、CD、DVD、ゲーム、はがき(本などと一緒に)もご寄付いただけます。

▶▶▶チャリボン」ご寄付方法・お申込みはこちら

<https://www.madrebbonita.com/charibon>

お勤め先でございませんか？

企業からのご寄付・助成金の推薦

皆さまのお勤め先や、労働組合・健康保険組合などで、社会貢献活動団体への寄付・マッチングギフト・助成制度などのお取り組みがあれば、ぜひご協力をお願いいたします。お繋ぎいただける場合はマドレボニータ事務局までお知らせください。

(info@madrebbonita.com 担当・北澤)

単発でのご寄付も随時お受付しております

●銀行振込でのご寄付

ゆうちょ銀行 10190 37231

(他行からの振込は ○一八 店(ゼロイチハチ店) 普通 0003723)

または

三井住友銀行 永福町支店 普通 7231754

いずれも口座名義 特定非営利活動法人マドレボニータ

●クレジットカードでのご寄付

▶▶▶ご寄付方法・お申込みはこちら

<https://www.madrebbonita.com/donate>



事務所を移転しました

3月下旬より事務所を移転いたしました。

【新住所】

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2階

【代表電話】

050-5316-1247 (電話番号の変更はございません)

なお、従来よりリモートワークを継続しており、上記住所に弊社団体スタッフは常駐しておりません。ご連絡は事務局メールアドレス(info@madrebbonita.com)にて承ります。

Madre Bonita

会報「マドレ通信」第23号

編集：新井和奈、井端梓、北澤ちさと、桐原沙織、長野奈美、中桐昌子、中川奈津子、永野間かおり、宮澤千尋、山本裕子

発行人 特定非営利活動法人マドレボニータ

住所 〒150-0001

東京都渋谷区神宮前6-23-4 桑野ビル2階

公式サイト <http://www.madrebbonita.com>

メール info@madrebbonita.com (事務局)



SNSでも情報発信中！

Facebook



Instagram



Twitter

